

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

2月の主な行事

2月 3日(金) 節分のつどい
4日(土) 土曜利用日
8日(水) 工賃支給日

2月誕生月のみなさん おめでとうございます

佐藤利彦さん 小林陽平さん 大橋春寧さん 岩崎真由美さん
佐藤 瞬さん
誕生月おめでとうございます。誕生会は3月生まれの皆さんといっしょに3月3日に行います。お楽しみに。

令和5年の新春と二十歳を祝う

ほとほら授産所新年と二十歳を祝う会開催



保護者様からのメッセージも披露されました

花束を受け取る高橋さん(写真右)

新年 1月7日、土曜利用日にあわせてほとほら授産所利用者さんの「新年と二十歳を祝う会」を食堂休憩室で行いました。

午前の作業を終えお昼の時間に始まり、開会のことばを当日の週番長 八島加奈子さんが務め、中木所長からお正月と新二十歳の祝いのあいさつがあり、新たな年を迎えたよろこびとめでたさを含めて「あけましておめでとうございます」とあいさつをするようになったことや、お正月飾りやお節料理の意味についてお話と、今年度二十歳になられた高橋康太さんへお祝いと、はなむけの言葉がありました。

つづいて新年を祝う歌「一月一日」と、法人歌「あぶくま福祉会の歌」をみんなで歌ったあと、昨年新成人だった熊坂友輔さんが乾杯の発声を行い、会食が始まりました。





乾杯の発声は熊坂友輔さんが務めました

コロナ感染対策を取り、黙食とテーブル間の仕切りを設け、お寿司と飲み物をみんなでいただきました。

会食の時間の中で二十歳のお祝いの時間をとり、今年度めでたく二十歳となられた高橋康太さんを祝う集いを開きました。初めに高橋さんから二十歳の抱負と保護者様からのメッセージが読み上げられ、授産所から高橋さんに記念品とお祝いメッセージの寄せ書き、花束を贈りました。

会の結びは、副週番長の斎藤サト子さんが閉会のあいさつを行いました。

第8波のコロナ感染が依然として続くお正月となりましたが、皆でお昼を豪華にいただき、お正月と新二十歳利用者を祝う有意義な集いとなりました。



新年を祝ってお寿司会食



飛沫拡散防止にテーブルを仕切って、いただきました

新二十歳インタビュー

高橋康太さん



成人になった感想

成人になってうれしかったです。

今やってみたいこと・これから挑戦したいこと

USJに行きたいです。

10年後の自分

元気にいる。

授産所の皆さんにひとこと

これからもよろしくお願いします。

育てていただいた親さんにひとこと

ありがとうございます。

保護者さんから康太さんへはなむけの言葉

康太へ

成人おめでとう。二十年間、いろいろ心配したり、驚いたり、感動しながら成長を見守ってきました。大人になったあなたには、いつまでも素直な心と、周囲の人々への感謝の気持ちを忘れず、優しい人になって欲しいと思います。

あなたの笑顔が大好きです。その笑顔にいつも幸せな気持ちにさせられます。

これからもその笑顔の絶えない人生を送ってほしいと心から願っています。父母より

保護者さんから授産所の皆様へ御礼の言葉

ほどはら授産所の皆さん、いつも康太がお世話になっております。皆さんに温かく見守っていただいたおかげで、この二年間元気に通うことができました。本当にありがとうございました。

仕事にも自分なりにやりがいを持ち取り組んでいる良いようです。成人の日を迎え自分なりに大人の自覚をもって頑張りたいと思っています。これからもよろしく願いします。

高橋健次

初仕事 各作業班 就労開始！



仕事始めの式 吉田理事長の訓示を聞く利用者さんたち

1月4日、仕事始めの式を終え、各作業班それぞれ1年の初めの仕事に取り掛かりました。

経済に左右され、物価高、受注減も予想される中ではありますが、頑張りたいと思っています。



旅館タオル袋詰め作業をする手工芸班の皆さん



ポット再利用準備をする農耕園芸班の皆さん



仕切り組作業をする段ボール班の皆さん



CDドライブ機器分解作業をするリサイクル班の皆さん

両施設で5回目のワクチン接種行う



今野院長の問診を受ける利用者さん（写真中央）

昨年12月21日、伊達市新型コロナ感染対策課のご高配により、ほどはら授産所とだての郷利用者さんへの第5回目のコロナワクチン接種を受けることができました。

当日は、前回同様だての郷を会場に、梁川病院の今野院長先生に来ていただき接種を行いました。5回目の接種ということもあって接種が始まってからはスムーズに行うことができました。

皆様には引き続き感染予防に努められますよう、お願い申し上げます。

だての郷から焼いも いただく



皮をむいて焼いもをほおぼる利用者さん



甘くてほっこり、美味しくいただきました

1月13日、だての郷で昨年実習畑で栽培していたさつまいもを秋に収穫し、この日に焼いもにしてだての郷利用者さんに配り、ほどはら授産所にもいただきました。早めに午後の作業を終え、帰りの会を前に、焼いもをみんなでいただきました。甘くておいしく、利用者の皆さんは大喜びでした。この日、午前の休憩ではお饅頭をいただき、盆と正月と一緒に来たような一日になりました。

本年初の避難訓練は 火災想定で実施



煙を吸わないよう鼻を押さえ避難する利用者さん

1月20日、今年最初の避難訓練を行いました。今回は火災を想定、真剣に取り組んでいました。毎月1回火災のほか地震、水害、不審者侵入等、避難テーマを決めて行うことにしています。

編集後記／ 新年を迎えたと思ったら1か月経過、今日から2月になりました。2月は「如月」きさらぎ着物をさらに着込むといわれるほど、1年で一番寒い時期となりました。寒い日が続いています。幾分夕方の日没時刻が伸びましたが、朝はまだ日の出が遅い日が続いています。節分までは大寒です。お体ご自愛のうえお過ごしください▼新年を祝う会は、新二十歳利用者高橋康太さんのお祝いも兼ね、お祝いと喜び二重奏、皆でお祝いができてよかったです。翌22日には福島市親の会主催二十歳を祝う会に当職にもご案内をいただき、康太さんのお祝いに駆け付けました。二十歳の証書を受け取り大人のとしての責任と自覚を持つことができましたことと思います。これまで育てていただいたご両親様も喜びひとしおだったことと思います。おめでとうございます。これからも授産所でさらに成長してください▼先月下旬、大寒波来襲により送迎車運休。ご迷惑をおかけしました。安全運行上取った措置にご理解いただき、感謝申し上げます。▼利用者さんたちは毎日寒さに負けず、お仕事頑張っています。引き続きよろしく申し上げます。(M)